

隊友 船橋だより

平成24年11月号 第107号 船橋支部事務局

「隊友船橋だより」は県隊友ホームページに掲載されています。

船橋支部は平成24年8月26日習志野駐屯地隊員クラブに於いて船橋支部会員35名の出席で平成24年度の総会を開催し、議案は原案通り可決されました。総会には、千葉県隊友会会長 山田正二氏の御臨席を賜り県隊友会の活動方針等御祝辞と、特別会員の内閣総理大臣 野田佳彦氏からは御祝辞メッセージを頂きました。

役員の交代は「支部長は井本敏夫氏から森良雄氏」「事務局長は神谷功氏から岡本勉氏」に受け継がれ、新たに「副支部長門脇茂氏」「会計中西孝男氏」。「北部地区常任理事丸山光則氏」「東部地区常任理事堀内紀喜氏」「西部地区常任理事内田貞勝氏は変更なし」に業務担当して頂きました。

尚、分会長と副分会長の空白の地区は、新聞手配りに支障をきたしますので自薦他薦何れかにより速やかに選出し事務局に連絡して下さい。

前支部長 井本敏夫氏は総会前に事故に遭遇され自宅療養されておりますが相談役に、神谷功氏は20年に及ぶ長期間、事務局長を遂行して頂きました。今年に入って体調不調の為、事務局長を下番されましたが監査役に留まって頂き事務局、会計の指導の監査役にお願いしました。

井本敏夫氏、神谷功氏御苦労さまでした。早くお元気になって下さい。

総会後の懇親会では、第一空挺団副団長に御臨席賜り御祝辞を頂戴しました。再会を楽しみに和やかな内に終了しました。



船橋支部長 森良雄氏



前事務局長 神谷功氏



県隊友会会長 山田正二氏の祝辞



第一空挺副団長を囲んで懇親会



事務局長 岡本勉氏

平成24年度事業計画

平成24年8月26日

千葉県隊友会 船橋支部

1、方針

千葉県隊友会 船橋支部（以下、船橋支部という）は、船橋市民と自衛隊の掛け橋として市民の防衛及び自衛隊に対する理解を深めるとともに、防災意識の普及高揚、公益目的事業の推進・拡充を図るとともに、船橋支部会員（以下、特別会員含む、会員という）の福祉と親睦の為の事業を推進し、会の魅力化を図る。

2、会員間の情報交換・意思疎通

- (1) 「千葉県隊友会ホームページ」（以下、県 HP という）に掲載された防災セミナーや「船橋市民活動情報ネット」から情報等を「船橋だより」等で会員に周知し、情報交換に努め、防災意識の高揚を図る。
- (2) 「船橋市民活動サポートセンター」（平成22年度に登録しJR船橋駅前のフェスビル5階に有る打ち合わせ施設、印刷機、コピー機を割安で利用できるようになった。）を船橋支部、分会、会員同士の会同、資料の作成等に、活用し船橋支部会員への自助共助に関心を高める意思の疎通に努める。

3、自衛隊の諸行事への協力

習志野駐屯地に所在する自衛隊の行事に努めて多くの会員が参加して諸行事を支援協力する。

4、部隊研修への参加

県本部が計画する部隊研修に努めて多くの会員が参加するよう「船橋だより」等で広報する。

5、地方自治体等が行う行事等への参加・協力

- (1) 市及び町内会が実施する防災訓練、防犯パトロール、児童通学時交通指導、清掃等、会員居住地の活動に積極的に参加、協力し市民の隊友会や自衛隊の理解を深める。
- (2) 千葉県護国神社で行われる戦没者慰霊祭・春秋例大祭・奉仕活動に参加すると共に陸・海軍墓地、慰霊碑、忠魂碑等の清掃活動を実施、又は支援する。

6、「船橋だより」の発行

二カ月に一回（機関紙 隊友に折り込み）を目途に会員に発送する。内容は、会員の意見及び活動情報発信の場所としての投稿を基本とし、船橋市民活動情報ネットの情報も掲載する。

7、その他

- (1) 会員の趣味、特技等を紹介しあい会員の相互親睦を図ると共に福祉を向上する。
- (2) 特別会員の勧誘（地域選出の国会議員、県市議員）等に努める。

千葉県隊友会 船橋支部総会のご開催を心よりお慶び申し上げます。

日頃より千葉県隊友会 船橋支部の皆様が寸暇を割く献身的なご努力を積み重ねられ、隊友会活動に熱心に取り組まれておられることに衷心より敬意を表します。

私は、昨年9月、第95代内閣総理大臣を拝命して以来、震災からの復旧・復興、原発事故との戦い、そして日本経済の建て直しを重要課題として取り組んできました。特に、欧州の債務危機については、決して「対岸の火事」ではなく、日本も真剣に財政健全化と経済成長の同時達成に取り組まなければならぬと危機感をもって政権運営にあたってきました。その結果、この度、社会保障と税の一体改革の関連法を成立させることができました。

また、あわせて2020年に向けた力強い経済成長を実現するための包括的な政策パッケージである「日本再生戦略」もとりまとめました。「グリーン」「ライフ」「農林漁業」「中小企業」を「4大プロジェクト」として位置づけ、今後3年で重点的な取組を行います。さらに、11の戦略と38の重点施策を明示し、「4年後までに何をやるのか」「2020年にどういう成果を目指すのか」といった点を分野毎に明記した「工程表」を付けました。予算編成においてもメリハリをつけ、一つ一つ政策を実現させていきます。

この「日本再生戦略」という羅針盤を手に、分厚い中間層を甦らせ、「今日より明日が良くなる」と実感でき、誰もが誇りを持てる国を実現するために一歩一歩、前に進んでいきたいと思っています。

千葉県隊友会 船橋支部の皆様におかれましても、未来に向けて、希望と活力にあふれた社会づくりにご尽力いただきますよう心よりお願い申し上げます。

最後に、千葉県隊友会 船橋支部のますますのご発展をご祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

内閣総理大臣

野田

佳

彦



会員の活動



嗚呼 海軍七勇殉難之碑



後列門脇・佐藤(正)・高木・佐藤(光)・木村・梅本
24.6.24「七勇士碑」草刈奉仕 前列久保・福丘相談役・葛西碑発見者・窪(鹿師)



H.24.6.24 後列；門脇、佐藤正、高木、佐藤光、丸山、梅本
慰霊碑草刈り作業参加の有志 前列；久保、福岳、葛西、窪

24, 6, 30

隊友会 船橋支部長 殿

隊友会員 丸山光則

嗚呼 海軍七勇 殉難之跡

この碑は、太平洋戦争中、昭和17年11月27日
第702海軍航空隊所属 一式陸上攻撃機は、木更津
基地より飛び立ち、飛行訓練中、天候が急変豪雨・
落雷にあい、この地に墜落、搭乗員七名が殉難

「碑」の発見の経緯

近くに居住されていた、葛西充男氏(考古学研究者)が、山菜採りに散策中、土中に埋もれた「碑」を発見、彼岸・お盆・命日に、草刈・掃除・献花・線香等を挙げ、40数年行なった。

その後の経緯

地域 公民館での「郷土の歴史を知ろう」の公開講座に、丸山が参加(当時 松ヶ丘・坪井分会長)。嗚呼 海軍七勇 殉難之跡を知る。碑発見者の葛西先生に申し出て、彼岸・盆に草刈・掃除等を手伝いし約10年経った。或日草刈から帰り道に、隊友会員門脇氏(当時隊友副分会長)に会い、事情を話す。

近くの分会合同で、草刈・掃除手伝おうとの話になり、松ヶ丘・坪井分会及び大穴分会合同の有志でやる事に成り、22年度から始めた。

23年度は「殉難七十回忌に当たる年で有り、6月と命日に草刈・掃除を行い、「嗚呼 海軍七勇」の七十回忌法要を、両分会及び船橋支部本部役員参列して頂き、盛大に七十回忌法要を行なった。

24年度の草刈・掃除実行

24年6月24日 嗚呼 海軍七勇 殉難之跡草刈・清掃実施し、以後 献花 焼香 大穴分会の佐藤(正)氏に「般若心教」読経を唱えて貰い供養しました。



24.6.24 大穴「七勇士碑」草刈現場作業前



24.6.24 大穴「七勇士碑」草刈現場 作業後

